

皆さま、おはようございます。私は英文学科 17 回生の三浦智子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日の第 57 回同窓会総会には 150 名を超える同窓生の皆さまにご出席いただいております。お忙しい中、お越しくださりありがとうございます。議案に先立ちまして、役員会の動きと今後についてお話させていただきます。

昨年度は 2 つの新しい取り組みを始めました。1 つは事務員採用です。昨年の総会で、名簿管理業務を事務員に有償で委託することをご承認いただき、2 名を採用しました。昨年度は約 350 件の入力処理や会報アルムネーの発送データ作成などを行いました。委託料につきましては収支計算書に記載しております。今年度はさらに 2 名増員して登録を 4 名とし、そのうち 2 名ずつが交代で勤務しています。増員の理由は、今年度から名簿管理に加え役員会業務の補助も委託すること、また不測の事態で欠員がでた場合も滞ることなく業務を進めていくためです。

2 つめの新しい取り組みはホームカミング事業です。昨年 4 月より、閉学までの間に多くの同窓生が母校に戻ってきて絆を深める機会を増やそうという趣旨でホームカミング事業を始めました。開催したイベントには幅広い年代の同窓生が参加し、手芸やヨガを体験しながらおしゃべりも楽しみ交流を深めました。同じく立ち上げた青谷会コーラスサークルには 26 名が参加し、月に 1～2 度練習をしています。昨年の大学祭と 12 月に聖堂で行われた大学主催のクリスマスキャロルでも歌声を披露しました。

また、毎年 10 月に開催される大学祭への参加もホームカミング事業のひとつです。今年は 10 月 26 日(日)に行われます。青谷会では例年通りカフェを開き皆さまをお待ちしております。ミニライブ・バザー・青谷会グッズの販売もごさい。そして、まだ計画段階ではありますが、来年秋には、今年より規模を拡大して多くの方が集えるようなホームカミングデーを検討中です。今日は皆さまのご意見を伺いたくアンケート用紙をお配りしております。最後の卒業生となる 4 年生 19 名と私たち同窓生が一体となって思い出を作る日にしたいと考えておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

次にお願いがござい。現在までに短期大学・大学を卒業された青谷会会員の総数は 1 万 43 名で、そのうち 7 割の方は住所の登録があり会報を発送しています。しかし、4 分の 1 にあたる約 2500 名は住所不明の扱いとなっていて青谷会から連絡を取ることができません。3 月に発送した同窓会報最新号も残念ながら 93 通が宛先不明で返送されてきましたので、住所不明の登録に変更しました。この先、閉学前後は大切なお知らせも増えるかと思ひます。ご住所・お名前が変わられたときは、郵便局へのお届けとは別に青谷会へも変更届をお願いし。お知合いの方で「会報が届いていない」と言われる方がおられましたら、青谷会ウェブサイトから届出ができることをお伝えくださいますようお願いいたします。

続いて、この場をお借りしておことわりを 2 つ申し上げます。

まず、役員構成についてですが、従来、会長 1 名副会長 2 名と各部署役員で運営していましたが、閉学前後にはイレギュラーな業務が増えることが予測されるため、今年度は副会長を 3 名としております。会則の役員に関する規定とは異なりますが、臨時措置としてご承認いただきますようお願いいたします。

また、今日は午後から懇親会で会食やイベントがござい。来年の総会後は懇親会ではなく、ご自由にお過ごしいただくお茶会とさせていただきます。懇親会は 48 歳になる学年が幹事学年となり一年間をかけて準備する青谷会の良き伝統でしたが、時代の流れで以前のように幹事が集まって作業することが非常に難しくなっています。サポートする役員の負担も大きくなりますので、来年は先ほどお話しした秋のホームカミングデーに集中して準備を進めてまいります。ご理解いただけますと幸いです。

さて、今日お申し込みいただいた皆さまの中には、今回初めて総会に出席される方も大勢おられます。懐かし

い母校を楽しみに来られるのと同時に、閉学後の同窓会はどうなるのかと気にされていることと思います。昨年も申し上げましたが、閉学後も同窓会は継続いたします。ただし、現状のまま続くわけではございません。会則の改定も必要ですし、同窓会事業の内容や総会のあり方も見直しが必要となります。この大きな変化を乗り越えるためには、役員だけではなく、同窓生お一人おひとりが同窓会に関心を持って積極的に関わっていただくことが何より大切だと考えております。1969年の設立より56年間、先輩方が大切に守ってこられたこの海星青谷会を、若い世代に引き継いでいくために、どうぞ今後ともより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。